

都道府県名	埼玉県	授与年度	平成 15 年度
学校種	中学校・高等学校	担当する教科等	社会・地理歴史
教授内容	世界史		
教諭の前職等	大学東洋文化研究所研究員	年齢	34 歳
内 容	<p>対象学年 高等学校2年 授業時間数（週コマ数） 18時間</p>		
	<p>1. 授与・採用経緯等</p> <p>大学卒業後、東洋史研究のため修士課程、博士課程に進学、単位修得後同大学東洋文化研究所研究員として研究に従事しながら、非常勤講師として大学生の指導も行った。その経験から本学の地理歴史科教諭に最適と考え、採用することとした。</p> <p>新聞の広告により広く教員を募集 → 本人が本学に応募 → 本学による採用試験（筆記・面接） → 第2次面接（校長・理事長による） → 採用 → 特別免許状の申請</p>		
	<p>2. 具体的教授内容・活動実績</p> <p>基本的事項を理解しやすく説明するのはもちろんのこと、専門的知識に裏付けられた具体的事例を挙げながら授業を展開している。また、放課後には理解の遅れがちな生徒を個別に指導している。一方、より専門的な学習を行いたいと考えている生徒には、具体的な図書や研究方法などを紹介して、生徒の学習意欲をより高める指導を行っている。</p> <p>校務分掌としては教務部に属し、主に学校行事、会議議事録の作成、定期考査の準備等を主に担当しており、仕事内容も適切である。</p>		
	<p>3. 効果・課題</p> <p>専門知識を生かした授業展開により、生徒の探求心を呼び起こすのに絶大な効果を発揮している。また、授業以外の仕事にも熱心に取り組んでおり、生徒及び同僚教師からの信頼が厚い。</p>		
<p>4. その他</p> <p>(1) 担任を持っていないものの、高等学校2学年付きの副担任として業務を行っている。</p> <p>(2) 今年度は高等学校のみで教授しているが、本校は中・高一貫校であるため、今後中学校でも教授することを考え、中学校・高等学校で特別免許状を申請した。</p>			

都道府県名	埼玉県	授与年度	平成 15 年度
学校種	中学校・高等学校	担当する教科等	社会、地理歴史
教授内容	世界史、地理		
教諭の前職等	通信添削会社社員	年齢	29 歳
内 容	<p>対象学年 中学校1年、高等学校1～3年 授業時間数（週コマ数） 18時間</p>		
	<p>1. 授与・採用経緯等 大学を卒業後、考古学の研究のため博士課程に進学、そのかわり、通信添削会社に入社し、高校指導部の地理歴史担当のリーダーとして活躍。その経験から本学の地理歴史・社会教諭に最適と考え、採用することとした。 新聞の広告により広く教員を募集 → 本学による採用試験（筆記・面接） → 第2次面接（校長・理事長） → 採用 → 特別免許状申請</p> <p>2. 具体的教授内容・活動実績 ○ 中学校1年（地理） … 世界史的な視野に立った地理の知識の定着（自主プリント）。世界史的な事項を盛り込みながらの授業であり、図表などを利用した効果的な授業を展開している。 ○ 高等学校1・2年（世界史） … 通史を通した基礎力の定着（主に自主作成プリント）。自らの大学院での研究や、実際に参加した発掘調査などの経験を取り入れながら、知識を有機的に結びつける授業を展開している。 ○ 高等学校3年（世界史） … 大学受験に向けた実力の養成（自主作成プリント）。大学受験において必要な実力養成は、通信添削会社に入社して身につけた方法論を利用して、的確に実施している。</p> <p>3. 効果・課題 生徒に対しては、いわゆる教員では得ることのできない発掘談などを交えながらの授業であり、世界史に興味を持つ者が増えている。 校務分掌としては進路部を担当し、データの整理、分析、生徒への情報提供の分かりやすさでは、欠くことのできない存在となっている。</p> <p>4. その他 (1) 担任を持ってはいないものの、高等学校1学年付きとして、副担任としての業務を行っている。 (2) 本校は中高一貫校であるため、特別免許状を中学校・高等学校で申請した。</p>		